

岩槻合併関連でも、市民軽視のまま

合併問題は、6月25日に法定協議会へと協議の場が移され、来年4月1日を期日とした合併を「是」として8月24日には合併調印式も行われました。議会がこの合併を認めるかどうかは、9月議会における「廃置分合の議決」で行われることとなります。

岩槻合併、結局広範な市民意向調査は行われぬまま

高木は法定協議会移行前の6月定例会の一般質問において、市がたった404名の団体役員へのアンケートで結局意向調査を終わりとしたことに抗議し、せめて法定協議会の場で広範な市民への意向調査ができないかと質問をしました。西東京市誕生の際に行われた前例のあるものですが、市は明確に「その必要はないし、法定協にそれを望むこともない」と回答しました。議会で市民意向調査を求め続ける声は最終的に少数に。

岩槻合併、正式な決議の前に5億円のシステム統合経費可決

岩槻との合併の是非が議会の意思として決議されるのは9月議会、まだこれからです。しかし、この「まだ未決定な合併」に掛かる5億円もの補正予算が7月臨時議会を通過。おかしなことです。数の力の前に屈せざるを得ない現状ですが、市民の皆さんの「おかしい」という声と一緒に運動をしていくことで、少しでも議会が市民から離れないよう精一杯の努力をしてみたいです。

新都心タワーはどうなる？

さいたま市は、2011年の完全地上デジタル放送化で必要性が議論されている新タワーを、誘致する活動を行っています。他自治体も名乗りを上げていますし、東京タワーで対応できる可能性もあり、いずれにしろ結論は今年中に放送局6社が出すことになっています。高木は、タワーは税金の無駄遣いにならないかと厳しい目で調べて参りましたが、タワー建設自体に市がお金を出す訳ではないこと（等価交換による土地の提供のみ）税金が使われるとすればタワー（管理）会社設立に参画する場合だが、その際の出資額を間違わなければデメリットは回避すること等に鑑み、短期間の現在の誘致活動は認める立場に立っています。まちづくりの核とすることで、税収アップ等も期待できると考えます。電磁波の影響などは現在調査中で、これらがクリアされなければ賛成できないのは言うまでもありませんが、年末の放送局6社の結論が待たれるところです。

9月議会が始まります。

8/31（火）から10月半ばまでの日程で9月定例会が開催されます。各会派による代表質問と常任委員会審議に加え、決算委員会が行われます。高木は保健福祉委員会の質問と決算委員としての質問の両方を行います。ぜひ傍聴にお越しください。

詳しい日程は、決定次第HPに掲載します。<http://www.marit.jp>

9月議会の市政報告は、10/23(土)に

10月23日(土) 14時～16時 宮原コミュニティセンター 第4集会室
予約や参加費はいりません。お気軽にお出かけ下さい。ご意見、ご質問お待ちしております。